

2025（令和7）年度の施策の展開

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

グローバルな視点で活躍し、イノベーションを担う人材の育成に資する英語教育や理数教育の充実を図りながら、未来を切り拓いていくために必要な新たな価値を生み出す創造性と多様な他者と協働して行動できる人材を育みます。

施策

- ⑧ 教育DXの推進
- ⑨ グローバルに活躍する人材の育成
- ⑩ 新たな価値を創造する人材の育成

※ 施策ごとに2025（令和7）年度の取組方針、主な取組、取組の進捗、参考について記載しています。

※ 【主な取組】の見方

➤ 主な取組を取組主体別に記載しています。

■：山口県教育振興基本計画に示す主な取組

○：主な取組の柱

・：具体的な取組内容

新：2025（令和7）年度の新規事業関連の取組

新：2025（令和7）年度の予算計上を伴わない新たな取組

拡：2025（令和7）年度の拡充する取組

➤ 予算の欄には、関連資料（令和7年度教育委員会当初予算の概要）のページ数を記載しています。

➤ 参考に説明資料等を掲載している取組や資料名には下線を引いています。

注 各施策の**参考**に記載している〈国参考資料〉及び〈県参考資料〉には、その他の関連資料、閲覧するためのURLや二次元コードを示しています。情報の更新等によりアクセスできなくなる可能性があります。

⑧ 教育DXの推進

【2025(令和7)年度取組方針】

- ◆ 「やまぐちスマートスクール構想2.0^{*1}」の推進に取り組みます。
- ◆ 児童生徒の情報活用能力^{*2}の育成に向けて、1人1台タブレット端末の活用を促進するとともに、教職員のICT活用指導力の向上を図ります。
- ◆ 主体的に学ぶことができる児童生徒の育成と誰一人取り残されることのない教育を実現するため、教育ダッシュボードの活用を推進します。
- ◆ ICTの校務への活用を推進し、校務の効率化と利便性の向上を図ります。

【主な取組】(担当課：教育情報化推進室／教職員課／義務教育課／高校教育課／特別支援教育推進室／学校安全・体育課／やまぐち総合教育支援センター)

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ ICTを活用した児童生徒の資質能力の育成		
○ 児童生徒の情報活用能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの教育実践とICT環境やAI等の先端技術のベストミックスによる学びの充実 ・ 各教科等の特質に応じた、情報技術を適切に活用した学習活動の充実 ・ 総合的な学習(探究)の時間等、地域や社会での学習における1人1台タブレット端末の活用 	学校 (小・中・高・特)	P121 P144
○ 情報モラル教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「情報モラル教育年間指導計画」に基づく情報モラル教育の充実(高・特) ・ 情報モラル教育に関する研修会等の実施 ・ 活用型情報モラル教材「GIGAワークブックやまぐち^{*3}」の活用 	県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)	
○ 1人1台タブレット端末の日常的な活用の促進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台タブレット端末を用いた効果的な実践例の創出及びオンラインコミュニティ等を活用した横展開 ・ 1人1台タブレット端末の家庭への持ち帰りによる家庭学習での活用の促進 	県教委 市町教委 学校 (小・中・高・特)	
拡 「生成AIを活用した家庭と学校の学びの好循環創出事業」による1人1台タブレット端末の活用の促進	県教委 市町教委 学校(中)	P121 P144
○ デジタル人材に必要な資質能力の育成		
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用に係るコンテスト及びAIやプログラミングの基礎を学ぶ講座等の開催 	県教委	P120 P146
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「DXハイスクール推進事業」による、デジタル等成長分野を支える人材育成につながる学びの強化に取り組む学校に整備した環境を活用した教育活動の推進 	県教委 学校(高)	P122 P146
■ 教職員のICT活用指導力の向上		
○ 教職員のICT活用指導力のレベルに応じた研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTや情報・教育データの利活用について各キャリアステージにおいて求められる資質能力の向上に資する研修の実施 	県教委 市町教委	P152
○ 多様な研修機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門研修やサテライト研修、独立行政法人教職員支援機構(NITS)山口大学センターと連携した研修、オンライン研修等の実施 ・ 「やまぐちICT新たな学びラボ(YAMA-LABO)^{*4}」での研修コンテンツの提供 	県教委 市町教委	P152
■ ICTを活用するための環境の整備		
○ ICT環境の維持・充実		
新 「教育DX推進に向けた県立学校ネットワーク高速化事業」による、さらなる県立学校の教育DXを推進する環境の構築	県教委	P121 P145

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

	新 高校段階における1人1台端末整備のBYAD ^{※5} 化に向けた補助制度等の周知及び購入サイトの開設	県教委	P119 P145
	・ 「山口県公立学校情報機器整備基金」を活用した、1人1台タブレット端末等の計画的な更新	県教委 市町教委	P119 P146
○ 教育ダッシュボードの活用			
	・ 個人情報の適正な取扱いを確保した、教育ダッシュボードの運用・改修	県教委 市町教委	P122 P146
	・ 校務や学習の教育データの可視化を通じた支援や指導の改善・充実	学校 (高)	
■ ICT活用推進体制の整備と校務の改善			
○ 教職員の日常的なICT活用のサポート		県教委 市町教委	P120 P146
・ ICT支援員 ^{※6} の配置 ・ 「やまぐちGIGAスクール運営支援センター」の設置			
○ ICT活用の推進等に向けた体制の整備			
	・ 「県立学校教育DX推進協議会」での協議による、県立学校のICTの効果的な活用の推進	県教委	
	・ 県教委と市町教委で構成する「山口県教育ICT推進協議会」における、市町間のICTの利活用状況・好事例の共有	県教委 市町教委	
○ ICTを活用した業務の効率化			
	・ クラウドサービス ^{※7} を活用した校務DXの推進 ・ 校務における生成AIの活用推進	学校 (小・中・高・特)	
拡	クラウド型採点システム ^{※8} や統合型校務支援システム ^{※9} の活用	学校 (高・特)	P122 P123 P146 P151
	・ 市町の統合型校務支援システムの共同利用	市町教委 学校 (小・中)	
新	公立高等学校における入学者選抜のWEB出願システムの導入	県教委 学校 (中・高)	P123 P151

- ※1 やまぐちスマートスクール構想 2.0：1人1台タブレット端末などのデジタル学習基盤の充実・強化とさらなる活用促進により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、誰一人取り残されない学びの保障、子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革の推進など、デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる構想
- ※2 情報活用能力：必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報を分かりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有することができる力。学習活動を遂行する上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質能力等を含む。
- ※3 GIGAワークブックやまぐち：県教委が（一財）LINE みらい財団と連携し作成した、ICTを活用した学びに焦点を当てた情報モラル教材。端末利用時の注意点や適切なコミュニケーション方法など、ICTの活用場面ごとにそれぞれのテーマで学ぶことができる。
- ※4 やまぐちICT新たな学びラボ（YAMA-LABO）：ICTを授業や校務において効果的に活用できる情報を集積したウェブサイト。タブレット端末を活用した授業や探究的な学びに関する資料等を多数掲載している。
- ※5 BYAD：指定された端末を個人が私費で購入し、学校や家庭で活用すること（Bring Your Assigned Deviceの略）

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

- ※6 ICT支援員：学校における教職員のICT活用（例えば、授業、校務、教職員研修等の場面）をサポートすることにより、ICTを活用した授業等を教職員がスムーズに行うための支援を行う者
- ※7 クラウドサービス：ネットワークから提供される情報処理サービスで、ネットワークとの接続環境さえあればネットワークに接続している特定のコンピュータや通信ネットワーク等の情報処理基盤を意識することなく情報通信技術の便益やアプリケーションを享受可能にするもの
- ※8 クラウド型採点システム：答案用紙をスキャンしたデータをクラウド上に保存し採点するシステムであり、選択式の解答の自動採点や得点の自動集計等の機能を有するもの
- ※9 統合型校務支援システム：教務系（成績処理、出欠管理、授業時数管理等）、保健系（健康管理、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系等を統合した機能を有しているシステム

取組の進捗

p-d-Check-a

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
学習者用端末を活用した学習活動に、情報活用能力の向上の効果があると感じている生徒の割合（特別支援学校を除く県立学校）	87.1% (2022(令和4)年度)	90.6% (2024(令和6)年度)	95.0%
情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力を有する教員の割合（公立小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校）	85.8% (2021(令和3)年度)	85.9% (2023(令和5)年度)	90.0%
授業にICTを活用して指導する能力を有する教員の割合（公立小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校）	77.9% (2021(令和3)年度)	79.8% (2023(令和5)年度)	85.0%
教育ダッシュボードで可視化した教育データを活用している学校の割合（県立学校）	0.0% (2022(令和4)年度)	59.0% (2024(令和6)年度)	100%

参考

「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進

(担当：教育情報化推進室)

社会のデジタル化やデジタル技術の急速な進展に的確に対応した施策展開を通じて子どもたちの可能性を最大限に広げるため、

さらなるICT活用を支えるデジタル学習基盤の整備

をベースにアップデートし、デジタルを活用してリアルな学びを充実

R7～

「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進

1人1台タブレット端末などのデジタル学習基盤の充実・強化とさらなる活用促進により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、誰一人取り残されない学びの保障、子どもと向き合う時間を確保するための働き方改革の推進など、デジタルを活用してリアルな学びを充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進に向けて、4つの視点からの施策を総合的・計画的に推進する。

「やまぐちスマートスクール構想」の推進

R3～

1人1台タブレット端末などのICT環境を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、子どもたちの可能性を広げる「やまぐちスマートスクール構想」の推進に向けて、3つの視点の学校づくりを総合的・計画的に推進する。

1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校

2 海外・地域・他校とつながる学校

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校

1 一人ひとりに合った学びで力を引き出す学校

2 海外・地域・他校とつながる学校

3 安心・安全で一人ひとりを大切にする学校

4 さらなるICT活用を支えるデジタル学習基盤

『やまぐちスマートスクール構想2.0』推進プラン』により施策展開

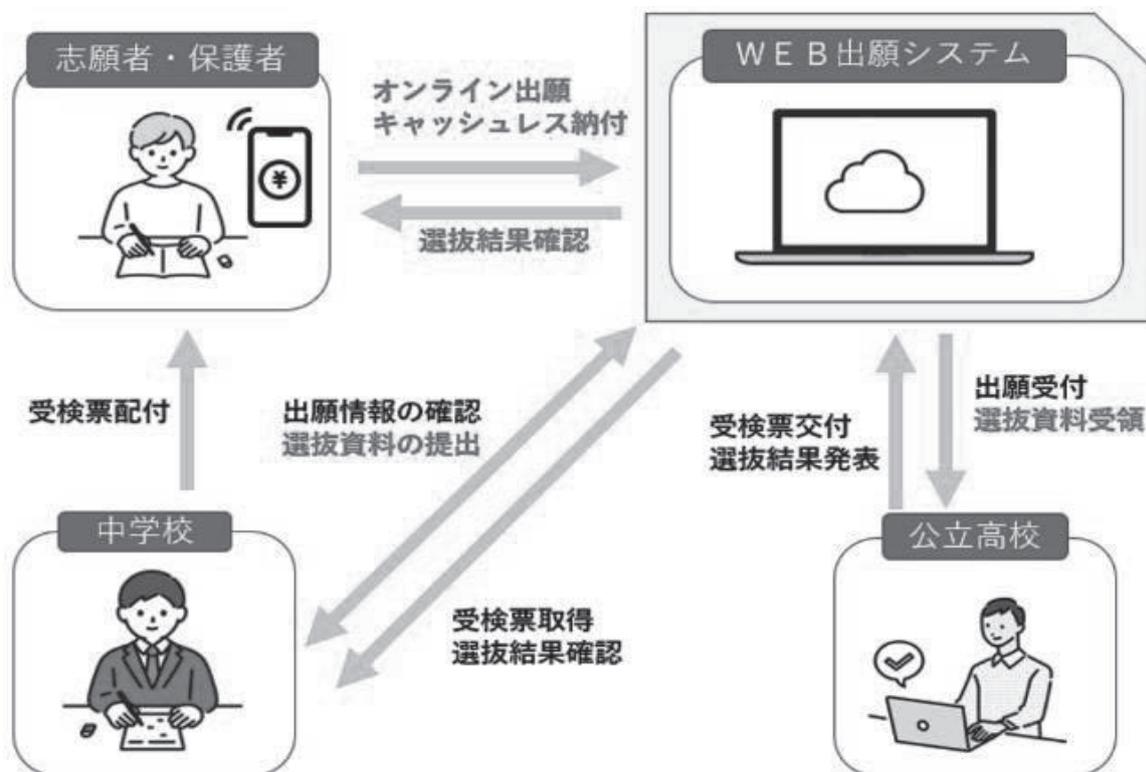
デジタルを活用してリアルな学びを充実し、子どもたちの可能性を拡大

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

公立高校入学者選抜WEB出願システム

(担当：高校教育課)

入学者選抜手続きのデジタル化を進め、Web上で出願の手続きが完結する環境を整備することで、生徒・保護者の利便性向上と、中学校・高等学校教職員の抜本的な負担軽減を図ります。



<県参考資料>

教育情報化推進室 「やまぐちスマートスクール構想2.0」の推進
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/244/291097.html>



教育情報化推進室 やまぐちICT新たな学びラボ (YAMA-LABO)
<https://www.yama-labo.ysn21.jp/>



⑨ グローバルに活躍する人材の育成

【2025（令和7）年度の実施方針】

- ◆ 小・中・高等学校の連携を一層促進するとともに、言語活動を通じた指導の充実や指導と評価の一体化を進め、英語でコミュニケーションを図る資質能力の確実な育成を推進します。
- ◆ 児童生徒の国際的視野を広げ、英語学習に主体的に取り組む態度を育成するため、海外姉妹校との連携強化や留学生の受入れ、オンラインも含めた国際交流の機会の充実に取り組みます。
- ◆ 世界に向けた広い視野と地域の身近な問題を意識する視点の両方をもつ人材を育成するため、国際協調・協力を実践する態度等を育む教育活動を推進するとともに、地域課題について探究する機会の充実を図ります。

【主な取組】

（担当課：高校教育課／義務教育課）

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 英語によるコミュニケーション能力の育成		
○ 校種間連携による英語教育の一層の推進		
・ 「小中高連携英語教育推進校連絡協議会」の開催等による各地域の計画的な取組の促進	県教委 市町教委	
・ 小中高連携英語教育推進校における校種間連携を視点とした研究による指導方法の工夫・改善	学校 (小・中・高・特)	
○ 指導と評価の一体化の推進、ICT等の研修の充実		
・ 小・中学校英語指導力スキルアップ研修会の開催 ・ 英語によるコミュニケーション能力を育成するためのICT活用を促進する研修の実施 ・ 外国語指導助手（ALT）と日本人教員を対象とした「山口県外国語指導助手指導力等向上研修会」の実施	県教委 市町教委	
・ CAN-DOリストの活用 ・ 言語活動の充実やICTの活用による指導方法の工夫・改善	学校 (小・中・高)	
○ 小学校専科教員の配置		
・ 小学校英語専科教員等の配置	県教委 市町教委	P146
・ 配置校・兼務校を中心とした英語教育に関する校内研修の充実	学校 (小)	
○ デジタル教科書の活用促進		
・ 各研修会におけるデジタル教科書の効果的な活用の促進	県教委 市町教委	
・ デジタル教科書を効果的に活用した授業改善	学校 (小・中)	
■ 海外との交流の促進		
○ 海外の教育機関との交流機会の充実		
・ 韓国慶尚南道から訪問団を招き、高校での授業体験・意見交換等を通じた相互交流や産業・文化施設訪問等による異文化体験を実施（高） （交流テーマ：「SDGs」、実施時期：10月以降を予定）	県教委	P146
・ オンラインを活用した海外の学校等との交流の実施 ・ 海外姉妹校との交流の実施	学校 (小・中・高・特)	

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

○ 海外留学の促進及び留学生の受入れによる国際交流機会の充実			
<ul style="list-style-type: none"> 海外留学に必要な経費の一部を補助（高） （留学先：オーストラリア、実施時期：7月末～8月中旬 人数：上限20人、補助金額：60千円/人 [予定]） 海外留学への関心を喚起し、留学に対する意欲や機運を醸成する留学フェアの開催（中・高） 	県教委	P132 P146	
<ul style="list-style-type: none"> 留学支援事業の周知や留学フェア等への参加・協力 国補助事業「アジア高校生架け橋プロジェクト+（プラス）」等を活用した留学生の受入れ（高） 	学校 （中・高・特）		
○ A L Tの活用の一層の促進			
<ul style="list-style-type: none"> 県、市町主催事業や学校での教育活動におけるA L Tの参画促進 	県教委 市町教委	P146	
<ul style="list-style-type: none"> 教育活動におけるA L Tの参画機会の充実 	学校 （小・中・高・特）		
■ グローバル・リーダーの育成			
○ 海外におけるグローバルな視野を育む教育の推進			
<ul style="list-style-type: none"> 「東部地域グローバル人材育成事業」による海外研修等の実施（中・高） 	県教委	P132 P146	
○ 地域課題をグローバルな視点で探究する学習活動の推進			
<ul style="list-style-type: none"> 「やまぐちの未来を創る！フロントランナー育成事業」による地域課題を探究するセミナーの実施（高） 	県教委	P128 P144	
<ul style="list-style-type: none"> 地域課題をグローバルな視点で探究する学習活動の一層の充実 	学校 （小・中・高）		
○ 大学等の教育機関と連携した深い学びの推進			
<ul style="list-style-type: none"> 「やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業」による、米国スタンフォード大学と連携したオンラインプログラム「スタンフォードe-Yamaguchiプログラム」の実施（高） 「東部地域グローバル人材育成事業」における、大学生と協働した探究活動の実施（中・高） 	県教委	P132 P146	

取組の進捗

p-d-Check-a

主な指標	基準値 （計画策定時）	最新値	目標値 （2027(令和9)年度）
中学校卒業段階で英検3級相当以上、高等学校卒業段階で英検準2級相当以上を達成した中高生の割合	中学校卒業段階 50.7% 高等学校卒業段階 48.3% （2022(令和4)年度）	中学校卒業段階 51.5% 高等学校卒業段階 46.6% （2023(令和5)年度）	中学校卒業段階 60.0% 高等学校卒業段階 60.0%
高等学校卒業段階で英検2級相当以上を達成した高校生の割合	20.6% （2022(令和4)年度）	17.9% （2023(令和5)年度）	30.0%
海外の教育機関等と交流した県立学校の割合（オンラインによる交流も含む）	54.2% （2022(令和4)年度）	47.9% （2023(令和5)年度）	100%

参考

英語によるコミュニケーション能力の育成

(担当：義務教育課／高校教育課)

山口県の英語教育推進計画

目的

○英語によるコミュニケーション能力を養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、英語教育担当者の指導力を向上し、児童生徒の英語力向上を図る。

(1)研修会

スキルアップ研修会、やまぐち英語教育推進連絡会等

【指標】

- 生徒の英語力
 - 中：CEFR A1レベル相当以上
 - 高：CEFR A2レベル相当以上
- 中：50.7%(2022) ⇒ 56.0%(2025)
- 高：48.3%(2022) ⇒ 53.0%(2025)
- 「英語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答をする割合

スキルアップ研修会

- 外部講師より理論習得
- 理論に基づいた実践
- 単元構想シートの作成
- 実践の共有と評価改善

やまぐち英語教育推進連絡会

- 県との情報共有
- 参加者同士の情報共有
- 理論に基づいた指導助言の実践
- 各地域の目標と進捗状況の確認

(2)指定校研究

- 公開授業や研究協議の実施
- 研修機会の提供と成果の普及

小中高連携英語教育推進校（7中学校区）

- 公開授業や研究協議の実施及び成果の普及
- 全校種の合同研修会を通じた校種間連携
- 連携CAN-DOリスト作成

(3)生徒の英語力向上事業（英検IBA及びESG）

- 【英検IBA】公立中学校1～3年生対象
- 【英検ESG】指定校及び希望校6年生対象
- 県市町教委による結果の活用
- 各学校による結果の活用

海外との交流の促進、グローバル・リーダーの育成

(担当：高校教育課)

やまぐち発！グローバル・リーダー育成事業

短期留学プログラム

短期留学参加により、グローバルに活躍しようとする意欲を向上させる取組

- ・ 短期留学：15日間（夏期）20名
- ・ 行先：オーストラリアを予定
- ・ 総費用：約70万円
- ・ 補助額：6万円（定額：国庫10/10）

スタンフォード e-Yamaguchi プログラム

海外大学のオンライン講義を受け、英語力・積極性等を向上させる取組

- 参加者：県内高校生30名
- 実施時期：10月～2月
- 内容：オールイングリッシュによる10講座の受講、プレゼンテーション
- 講座テーマ例：アメリカの高校生活、アメリカでの起業家教育、SDGs
- ※ 修了生徒にはスタンフォード大学から修了証の発行

山口から世界へ GoGo プログラム

世界へ視野を広げ、留学する高校生を増加させる取組

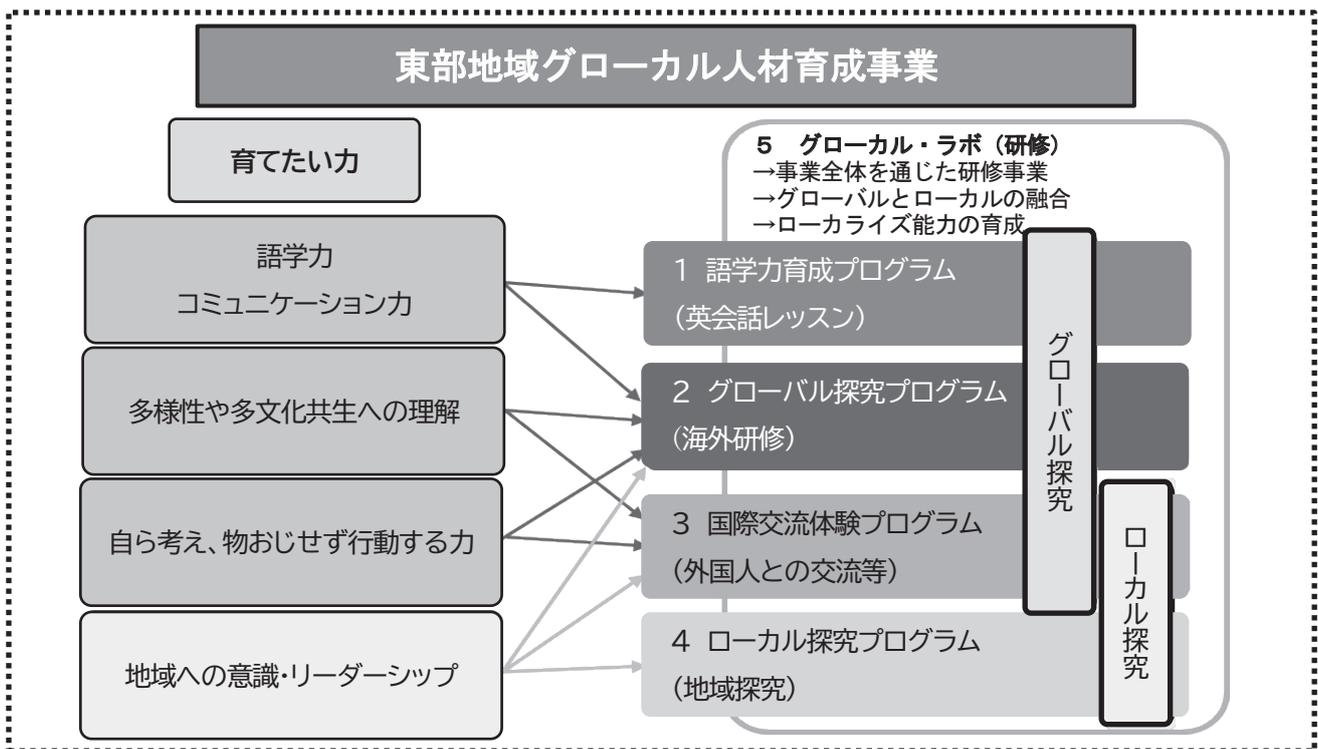
やまぐち留学フェアの実施

実施時期：9月中旬 実施会場：KDDI 維新ホールを予定

内容：留学を促進するための講演、短期留学参加生徒の発表、山口県に留学している生徒・学生の発表、スタンフォード e-Yamaguchi プログラム参加生徒の発表、留学相談コーナー、海外進学相談コーナー 等

地域と地球規模で考え、世界へはばたくグローバル・リーダーの育成

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進



<国参考資料>

YouTube 文部科学省/mextchannel 「外国語教育はこう変わる！」（随時更新）

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>



文部科学省「高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料」（R4.7）

https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf



文部科学省「外国語の指導におけるICTの活用について」（R2.9）

https://www.mext.go.jp/content/20201102-mxt_jogai01-000010146_009.pdf



総務省「JETプログラム外国語指導助手（JET-A/LT）活動事例集」（R5.7）

https://www.soumu.go.jp/kokusai/kouryu_JET.html



文部科学省「英語教育改善プラン（平成28年度～）」

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/index_00006.htm



<県参考資料>

高校教育課

ICTを活用した授業提案「外国語科におけるReading Progressの活用について」（R6.1）

ICTを活用した授業提案「外国語科におけるReading Coachの活用について」（R6.1）

<https://www.yama-labo.ysn21.jp/>



⑩ 新たな価値を創造する人材の育成

【2025（令和7）年度の実施方針】

- ◆ 学習指導要領を踏まえ、児童生徒が主体的に課題を発見し、多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習の充実を図ります。
- ◆ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、普通科改革、先進的なグローバル・理数系教育等を通じて、各高等学校等の特色化・魅力化を図ります。
- ◆ 整備されたICT環境やデジタル化対応産業教育装置を積極的に活用し、専門分野に関する知識・技術の深化と実践力の育成、将来の地域産業を支える人材の育成に向けた取組を推進します。
- ◆ 各教科等の授業において、起業への理解促進や起業体験活動を推進します。
- ◆ 専門高校で学ぶ生徒に対して、脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成と必要な資質能力を身に付けた人材を育成します。

【主な取組】

（担当課：高校教育課／義務教育課）

主な取組と内容	主な取組主体	予算
■ 探究・STEAM教育の充実に向けた取組		
○ 大学等と連携・協働した課題解決型学習や研究発表会の実施		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校における課題研究の成果を発表する探究学習成果発表大会等の機会の設定 	県教委	P116 P145 P147
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文理探究科などにおける大学や博物館等の訪問を通じた課題解決型学習の実施 ・ 地域社会の課題に基づく探究活動の実施 	学校 (高)	
○ 探究的な学習に資するプログラムを活用した取組の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教委が独自に開発した教育プログラム（まなびで“きびる”プロジェクト）の活用促進 	県教委	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題発見能力の向上に資するプログラムを活用した授業の実施 ・ プレゼンテーション能力の向上に資するプログラムを活用した授業の実施 	学校 (小・中・高)	
○ 生徒が切磋琢磨し、能力を伸長する機会の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の科学コンテストへの参加促進 	県教委	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際科学オリンピックへの参加 ・ ISEF（国際科学技術フェア）等への参加 	学校 (高)	
○ 文理探究科における探究的な学習活動の推進		
<p>☎ 「やまぐちサイエンス・サポート事業」、「DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業」による文理探究科設置校の学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究学習の充実と教員の指導力向上に資する協議会の開催 	県教委	P115 P116 P146 P147
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文理探究科の生徒が集う合同セミナーの実施 ・ 課題研究の充実 	学校 (高)	
■ 理数教育の充実に向けた取組		
○ 大学等と連携した体験的・探究的な学習活動の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ・ やまぐちサイエンス・キャンプの開催 ・ 「科学の甲子園」山口県大会（中学生・高校生対象）の開催 	県教委	P116 P147
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学等が主催する研究発表会への参加 ・ 大学等の研究者から直接指導を受ける機会の創出 	学校 (高)	
○ 創造性等を高める指導方法の研究開発及び成果の普及		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科授業改善研修会の実施（小・中） ・ 「サイエンスやまぐち」等の科学作品展・科学発表会の開催 	県教委	P116 P147
<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーサイエンスハイスクールにおける指導方法の研究開発及び成果の普及 	学校（高）	

2 新たな時代を創造する人材を育む教育の推進

■ 高等学校の特色化・魅力化に向けた取組			
○ 協働的・探究的な教育活動の充実			
新	「DXで未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業」により探究的な学習を推進する教員の育成や学習の質の高度化を支援	県教委	P115 P146
	・ 岩国高校、徳山高校、山口高校、宇部高校、下関西高校、萩高校に設置する文理探究科における次代を担う人材の育成や、総合型選抜等多様化する大学入学者選抜への対応	学校 (高)	
○ 組織的・計画的な教育活動の検証・改善			
	・ 学校運営協議会等の活用による、スクール・ポリシーを踏まえた、日々の教育活動の組織的・計画的な実施及び検証・改善	学校 (高)	
■ 職業教育の充実			
○ 産業界のDX化に対応できる人材の育成			
	・ 専門高校とデジタル技術を積極的に導入している県内企業との連携による技術講習会や実習の推進	県教委	P129 P145
	・ ものづくりへの興味・関心の喚起と知的好奇心の育成		
	・ 企業の技術者による学科の専門性に応じた技術講習会等の実施	学校 (小・中・高・特)	
	・ ものづくり教室やものづくりイベント等の活用		
○ 資格取得や専門技術習得の促進			
	・ ICTを活用したオンライン講座の配信による学校や学科の枠を越えた学びの場や機会の提供	県教委	P129 P145
	・ 高度な専門知識や技術を身に付けた人材の育成		
	・ 山口マイスター等の熟練技能者の積極的な活用による技術講習会の実施	学校 (高・特)	
	・ デジタル化対応産業教育装置を活用した資格取得講座の実施		
	・ 「介護職員初任者研修」等の実施		
	・ 「きらめき検定」(山口県特別支援学校技能検定)の活用		
■ 起業家教育(アントレプレナーシップ教育)の推進			
○ 新たな価値の創造に取り組む姿勢や発想・能力等の醸成			
	・ 学科の専門性に応じた起業への理解促進や起業体験活動の推進	県教委	
	・ 地元企業や異なる学科と連携・協働した商品開発・販売等の教育活動の実施	学校 (高・特)	
	・ やまぐちハイスクールブランドプロジェクトを活用した起業体験活動の実施		
	・ 県及び経済団体等が主催するコンテストの活用		
■ 脱炭素等、これからの社会における成長分野を担う人材の育成			
○ 専門高校とカーボンニュートラルの実現に向けて先進的に取り組む企業との連携による教育活動の推進(企業から学ぶ!専門高校カーボンニュートラルプロジェクト)			
	・ Technology 関連企業、Life 関連企業と連携した研修、研究の充実	県教委	P133 P147
	・ 脱炭素化に取り組んでいる県内企業への理解促進		
	・ 学科の専門性に応じた研修や現場見学、現場実習等の実施	学校 (高)	
○ 専門高校における研究活動の推進と成果の普及			
	・ 脱炭素化について学ぶ研修会や活動報告会の実施	県教委	P133 P147
	・ やまぐちスマートスクールポータルサイトにおける研究成果の発信		

取組の進捗

p-d-Checkra

主な指標	基準値 (計画策定時)	最新値	目標値 (2027(令和9)年度)
県教委が独自に開発した探究的な学習に資する教育プログラムを活用した公立高校の割合	55.1% (2022(令和4)年度)	47.9% (2023(令和5)年度)	100%
産業界等と連携した学習活動（インターンシップ、共同研究等）を行っている県立高校の割合	97.9% (2022(令和4)年度)	92.5% (2023(令和5)年度)	100%
大学等と連携した理数教育に関する体験的・探究的な学習活動に参加した普通科設置校の割合	37.0% (2022(令和4)年度)	55.6% (2023(令和5)年度)	70.0%

参考

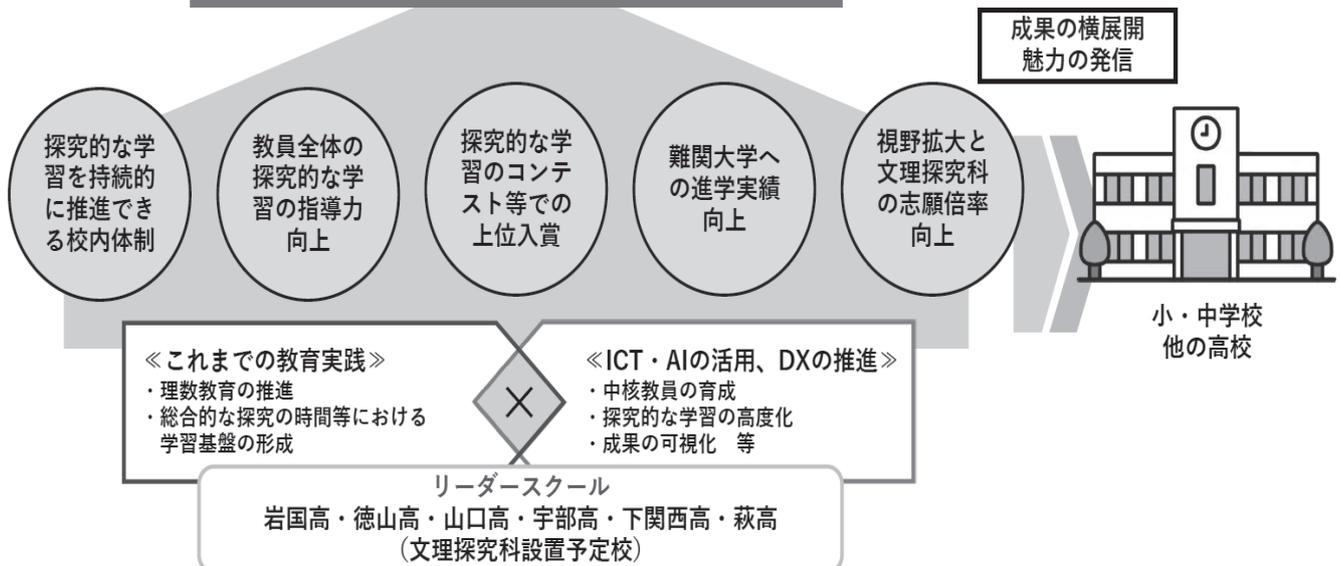
探究・STEAM教育の充実に向けた取組

(担当：高校教育課)

DX で未来を創る！やまぐち探究レベルアップ事業

新たな価値を創造する人材の育成に向け、文理探究科6校において、ICT・AI等を活用した文理横断的・探究的学習の高度化を図り、その取組・成果を広く県内に発信・横展開することで、探究的な学習活動を推進します。

新たな価値を創造する人材

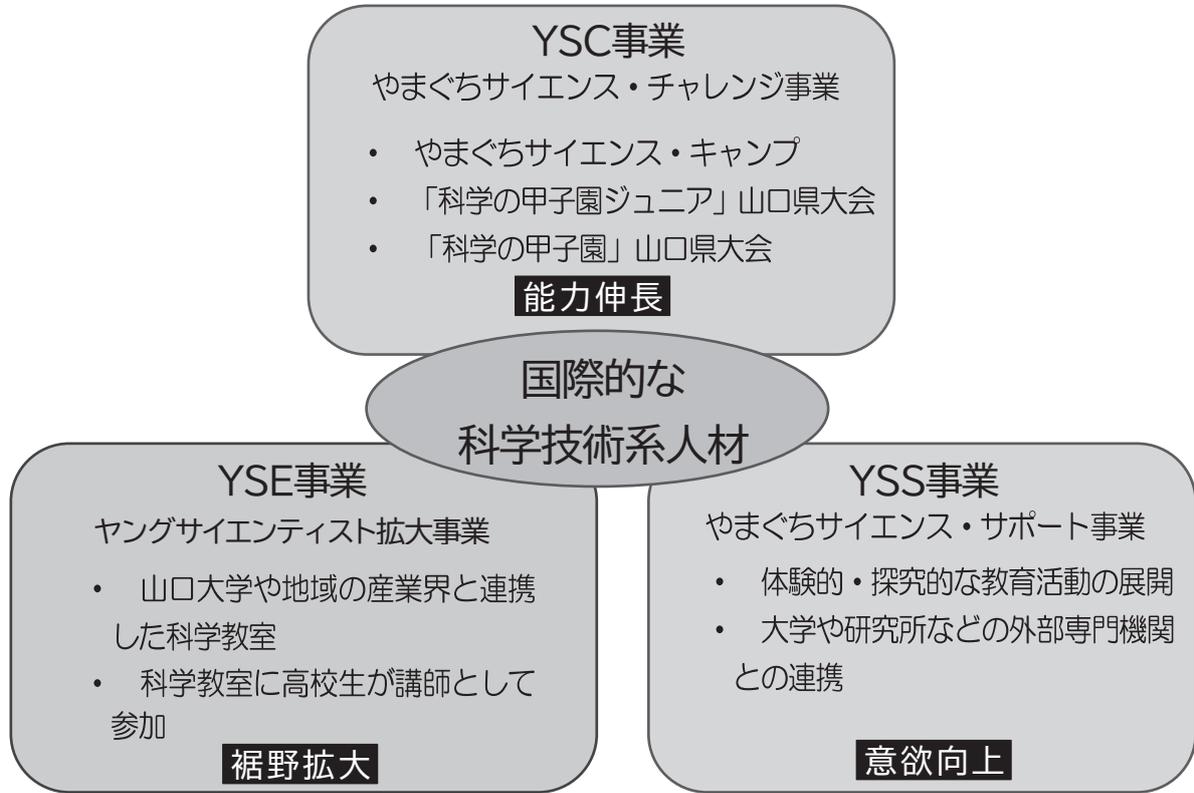


理数教育の充実

(担当：高校教育課／義務教育課)

科学に対する興味・関心の喚起や、探究的活動に重点を置いた理数教育の充実など、質の高い系統的・継続的な理数教育の推進を図ります。

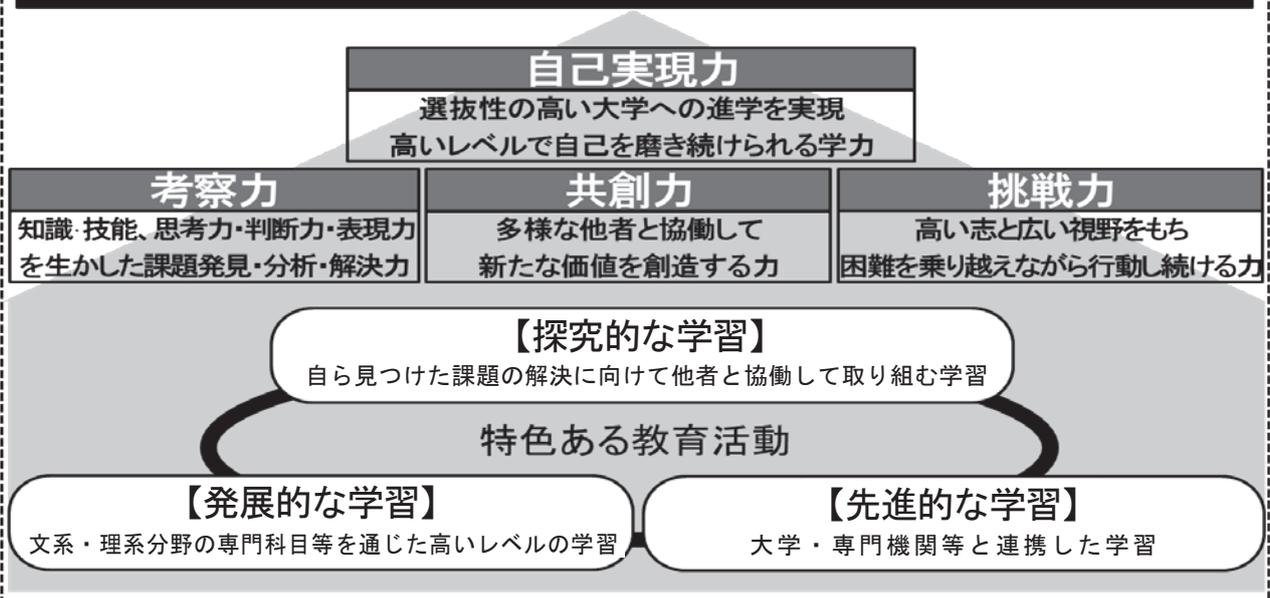
やまぐち 燦めきサイエンス事業



文理探究科のねらい【概念図】

(担当：高校教育課)

未来を切り拓く次代のリーダーを育成



職業教育の充実

(担当：高校教育課／義務教育課／特別支援教育推進室)

＜社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成＞

- 各職業分野に関する体系的・系統的な理解及び関連する技術の習得
- 各職業分野に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する力の育成
- 職業人として豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築をめざして自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度の育成

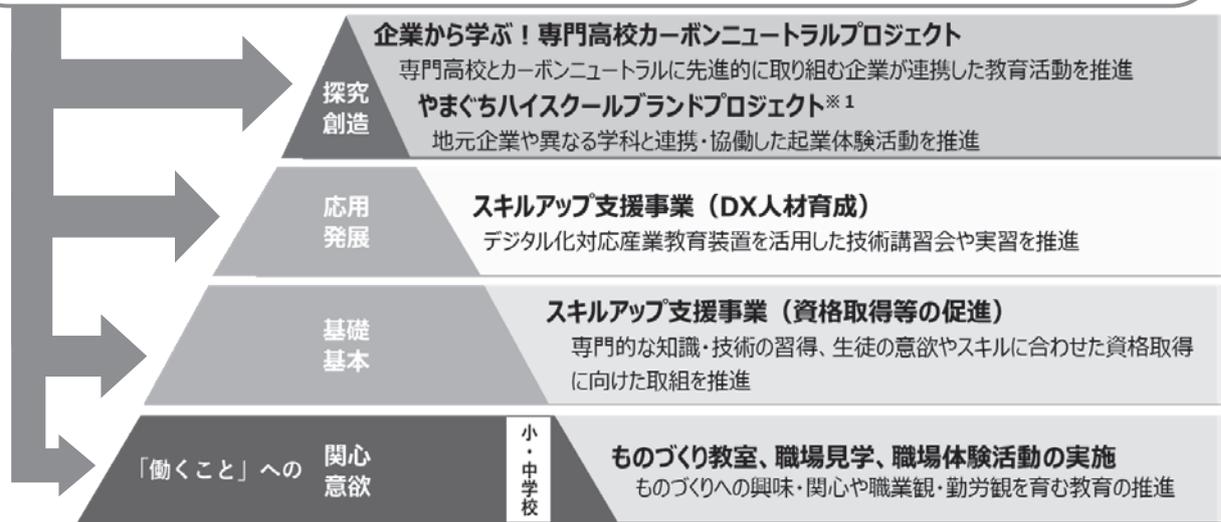
山口県産業の将来を担う人材の育成

産・学・公との連携・協力【企業、大学、関係機関等】

- 企業実習受入、講師派遣
- 若年技能者人材育成支援等事業
- 次代を担う産業人材育成推進事業
- ものづくり産業技能向上対策事業 等

ICTの活用

- 学校・学科の枠を越えた学びの場や機会の創出
- やまぐちスマートスクールポータルサイトにおける情報発信



※1 やまぐちハイスクールブランドプロジェクト：専門高校等で学ぶ生徒が、学科の枠を越え協働しながら起業体験活動や商品開発及びブランド化等、新たな価値の創造につながる教育活動を実施。模擬株式会社山口魅来（やまぐちみらい）の活動を通したマーケティングに関するノウハウの構築・共有化、新ブランドの確立・活用に取り組む。

山口魅来(やまぐちみらい)

(企業名の由来)

- ・ 人々を魅了し、未来の子どもたちに山口の魅力を知ってもらいたい。
- ・ 地域の人々と協力し、伝統を引き継ぎ、未来を創り上げていく会社をめざす。



Yamaguchi High School Brand

統一マーク
商標登録第 6437234 号

＜県参考資料＞

高校教育課 やまぐちICT新たな学びラボ (YAMA-LABO) 「ICTを活用した新たな学び」(まなびで“きびる”プロジェクト)
<https://www.yama-labo.ysn21.jp/>

